

杉本 誠司(すぎもと・せいじ)先生

株式会社ニワンゴ 代表取締役社長

(株)ドワンゴにてモバイル向けビジネスツールや電子書籍サイト等の新規事業を担当し、メールポータル「ニワンゴ」の立ち上げに携わる。

(株)ニワンゴ 代表取締役社長

(株)ドワンゴ ニコニコ事業本部アライアンス事業部長

(株)スカイスクレイパー 取締役 (現任)



#### 〈講義概要〉

株式会社ニワンゴの代表取締役社長として、人気の動画コミュニティーサイト「ニコニコ動画」の企画・運営を手掛ける杉本誠司氏が、ニコニコ動画の世界について、運営側の視点から講義を行った。

講義では、実際に「ニコニコ動画」に接続し動画を流しながら、ニコニコ動画の現状や新しい取り組み、今後の方向性について楽しく説明した。その中で、すべてのサービスがコミュニケーションにつながっていることがニコニコ動画の人気の秘密であることを示し、相互コミュニケーションという新たなメディアのあり方を提示した。また、著作権の問題についても実情を説明、著作権の考え方が少しずつ変化していることを伝えた。

移り変わりの激しい日本のコンテンツ産業において、次々と新しいアイデアを発信しながら反応を分析し、利用者の気持ちを盛り上げ続けようとする杉本氏の言葉から、“今”のエンタテインメントの動きが、リアルタイムで伝わる講義となった。

## 〈受講生の感想〉

「すべてはコミュニケーションにつながる」、初めこのキーワードを聞いた時はそんなにピンとこなかったのですが、本日の講義でたいへん多くのことを学びました。動画を共有するだけでなく、本当に話をしていくようなコメント方式や、リアルタイムの動画配信など、ニコニコ動画を通じて色々なコミュニケーションの場が持てる場である、と知りました。

同志社大学・文学部・3回生

「僕は動画をテンプレートって呼んでます」、  
「YouTube とは比べてません」といった先生のお話を聞いて、ニコニコ動画に動画を見るためにアクセスすること自体間違っていたのだなと思った。ニコニコ動画はこれまでになく全く新しいコミュニケーションツールとして進化してきていることを知った。ニコニコ生放送など、多くの費用をついやしてまで新しいことに挑戦するニコニコ動画のビジネスに対する姿勢は素晴らしい。

立命館大学・産業社会学部・1回生

私は、同じものを「共有」することはとても大きな意味があると思うので、生放送を1万人に人が同時に見るといった取り組みはすばらしいと感じた。また、今後の課題として、経済効果を生むニコニコ動画になるという理想があり、今後ニコニコ動画からCDデビューするなどの動きが大変楽しみになった。このようなインターネット番組から、世間での経済効果を上げるようなことが、これからどんどん増えていってほしい。

立命館大学・産業社会学部・2回生

ニコニコ動画からクリエイターが生まれるというのがすごいと思いました。才能を持っている人でも、それを発揮する場がないという人はすごく多いと思うので、Web上で簡単にアップして多くの人に見てもらえるというのは素晴らしいと思いました。また、YouTubeとはちがいで、コミュニケーションを多くとれるというのは、やはり1人で動画を見るよりも楽しいし、人々の満足感も大きいと思いました。

立命館大学・産業社会学部・1回生

実際お話を聞いてみると、これまでの機能拡張の根底に「コミュニケーション」という共通の考えがあるということを知り、そしてだからニコニコ動画というものは楽しいのだなあ、ということを感じました。また、ニコニコ動画を含め動画共有サイトにとって避けられない問題である著作権の問題についてどう考えていらっしゃるかを聞いたことも大きな収穫でした。

立命館大学・産業社会学部・1回生

ニコニコ動画はSNS・エンターテインメント、また、社会そのものが反映された1つの世界のように思った。ニコニコ動画の人気は、同期・非同期コミュニケーションの親しみやすさもちろんなのですが、私自身ニコニコ動画の独特なデザインにも人気の原因があると思う。明るい色使いやオリジナリティのあるフォント、キャラクターetc.の工夫も非常に素晴らしいと思った。

龍谷大学・社会学部・4回生

